

1. 件名：「京都大学複合原子力科学研究所との原子力規制検査に関する意見交換」に関する面談

2. 日時：令和3年8月5日（木）14時50分～16時00分

3. 場所：京都大学複合科学研究所 会議室

4. 出席者

(1) 原子力規制庁

長官官房

森下審議官

原子力規制部 検査グループ 検査監督総括課

岸岡上席検査監視官

原子力規制部 検査グループ 核燃料施設等監視部門

寒川安全規制調整官、青山上席監視指導官

原子力規制部 熊取原子力規制事務所

渡辺統括原子力運転検査官

(2) 京都大学複合原子力科学研究所

中島所長 他5名

5. 要旨

(1) 原子力規制検査の制度が開始して1年経過しており、設置者等の安全活動に係る取組み状況や検査制度に関する意見などを聴取するため、京都大学複合原子力科学研究所において、面談を実施した。

原子力規制庁からは、以下の点について質問をした。

- ・ 複合原子力科学研究所における原子力安全の取組みの状況
- ・ 検査官とのコミュニケーションの状況
- ・ 原子力規制検査制度に対する意見など

(2) 京都大学複合原子力研究所からは、以下のような説明があった。

- ・ 設備の老朽化に対応するため維持管理のあり方について、検討を進めている。
- ・ 研究炉は実用炉と違いトラブル等の事例が少ないので規制当局、JAEA と一緒に研究炉のROPに関する勉強会をしたい。
- ・ コミュニケーションに関しては、良好な状態であると考えている。
- ・ 新しい検査制度は、従前の検査制度より安全性が高められる制度と認識している。

6. 配付資料

なし

以上